

第1回 1型糖尿病患者 友の会 会報

【実施日】

平成 26 年 9 月 20 日（土）14:00～16:00

【会場】

加古川西市民病院 別館 6 階 講義室

【実施内容】

- 永田医師による情報提供（20分）
- 松尾管理栄養士によるカーボカウントについての話（20分）
- フリーディスカッション（90分）

【参加者】

患者さん 38 名 ご家族・ご友人 18 名 医療従事者 13 名

合計 69 名

<西山小児科医長による開催の挨拶>



スタッフによる受付



永田医師による情報提供

第1回糖尿病患者の会という事で、加古川西市民病院副院長による、『1型糖尿病の治療』というタイトルでの、情報提供でした。1型糖尿病とはどんな病気？治療は？から始まり、最近の新しいインスリンのお話や、1型糖尿病の未来の治療など、それらを分かりやすくお話しして頂きました。

永田医師

「以前より、1型糖尿病患者会の開催の必要を感じていましたが、当院の1型糖尿病の患者数が小児を含めると100名を超えてきました。悩み事や、他の人はどのようにされているのか聞いてみたい事、いろいろあると思いますが、まずは顔合わせの会という事で念願の開催となりました。」

<永田副院長の1型糖尿病に関するお話>



松尾管理栄養士によるカーボカウントについての話

カーボカウントとは何から始まり、基礎カーボカウントと応用カーボカウント、炭水化物量に応じて、インスリン量を調節していく方法を教えて頂きました。

<松尾栄養士によるカーボカウントのお話>



フリーディスカッション

テーマ別に 5～10 人ずつのグループに分かれ、約 1 時間ディスカッションを行いました。メインのテーマはもちろんのこと、日々の悩みや疑問などについても活発な意見交換が行われました。

- ① まず初めに、第 1 回目という事もあり、この患者会の会名を決めました。病気と向き合う思いを込めて、様々な意見が出ましたが、はりま地域の糖尿病カラーであるブルー、1 型という事で、『Harima Blue One (HB1) 友の会』という会名に決定しました。
- ② 年 2 回、2 月と 9 月に開催する事が決まりました。

<グループ ワーキング>



CSIIポンプの展示



子どもの控室の光景



展示物 資料の提供